

# ペンギンの研究者に インタビュー



## しまぶくろ 羽衣さん

### プロフィール

- ・沖縄県出身。総合研究大学院大学在学中。専門は動物行動学。
- ・第59次南極観測隊に参加。
- ・好きなペンギンの種類：ヒゲペンギンとキタイウトビペンギン

(2019年7月現在)



どうしてペンギンの研究に興味をもったのですか？  
ペンギンの魅力を教えてください。

家の近くに自然が多く、いろいろな生き物が身近だったこともあり、子どもの頃から動物が好きでした。特にペンギンに興味を持ったきっかけは、「やっぱりペンギンは飛んでいる!!」という本を読んだことです。その中には、ペンギンがどうやって寒さに耐えているのかについての秘密が書いてあって、見た目の可愛さとそのさまざまな機能を備えた体のギャップに驚きました。一時期はペンギンに関連する仕事ということで動物園での職業体験に参加したこともありますが、ペンギンを近くで見ているうちに野生でのリアルな生態についてもっと詳しく知りたいと思うようになり、ペンギンの研究者を目指しました。



ご自身の研究内容を教えてください。

大学時代は水族館で飼育されているペンギンの体内のホルモン量を調べて、繁殖がうまくいくタイミングについて研究していました。ただ、水族館のペンギンたちはエサにも恵まれているため、野生のペンギンと全く同じと考えるわけにもいきません。また、ホルモンの量というのは動物の行動にも変化を与えるため、野生のペンギンでホルモンと行動を同時に調べたらおもしろいのでは？と思い、極地研に来ました。そこで今はアデリーペンギンや飛び海鳥(ウトウ)を対象として、子育てを終えたあとの「渡り」をロガーで追跡し、その行き先の違いと動物のホルモン量との関連性を調べています。



【ペンギンの背中へのロガー装着】



子どもたちにむけてメッセージをお願いします。

みなさんの中にはきっと、ペンギンや南極が大好き！という子もたくさんいると思います。私も動物が大好きで、それがこの研究をすることになる大きなきっかけでした。日本には全国各地のたくさんの動物園・水族館でペンギンが飼育されています。まずは近くのペンギンに会いに行って、そのかわいくておもしろいしぐさをその目でしっかり観察してみてください。そして、「これはどうしてかな？」という疑問がわいたら、将来、ぜひ私たちと一緒に南極で調査に行ってみましょう！南極の広い広い海には、だれも見たことのない素晴らしいペンギンの姿がまだまだたくさん隠されているはずですよ。